

全国市町村長サミット 2025 in 秋田 主催者挨拶（秋田県知事）

本日は、「地域力の強化に向けた全国市町村長サミット 2025 in 秋田」に、全国各地より多数の皆様にお集まりいただき、開催県を代表して心より御礼申し上げます。地方創生の最前線で活躍される市町村長の皆様、ならびに日頃から地域社会の維持・活性化にご尽力されている皆様と、この秋田の地で有意義な議論や意見交換を行えることを大変嬉しく思います。また、開催にあたり多大なるご尽力をいただきました総務省、市長会、町村会の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、地方創生の開始から 10 年が経過しましたが、国全体としての人口減少や東京一極集中の是正には至っておりません。本県においても、人口減少に関しては全国でも突出した状況にあります。その一方で、クマによる被害が急増しており、本会場近隣の千秋公園にもツキノワグマが出没するなど、自然の脅威が身近に迫る地域となってしまいました。

こうした中、自治体運営においては、新たな発想と取組が求められております。その一例として、本会場であるこの「あきた芸術劇場ミルハス」は、県民会館と秋田市文化会館の機能を統合し、県と市が連携して共同で整備した施設（中ホール 800 席、大ホール 2000 席）でございます。また、生活排水処理事業においては、深刻な人材不足に対応するため、県内全 25 市町村と県、民間企業の出資による全国初の官民連携会社「株式会社ワン・アキタ」を設立いたしました。これにより、計画策定や基幹業務を補完しております。このように、本県においても、人口減少による地域の衰退が進む困難な局面ではありますが、様々な工夫により自治体運営の効率化を図り、サービス向上に取り組んでおります。

また、先般、当ホールにおいて、「世界洋上風力サミット」が開催されました。本県は風力発電の先進地であり、明日視察予定の男鹿半島への道中においても、陸上・洋上ともに多くの風車をご覧いただけるかと思います。国において、エネルギーの確保や食料自給率の向上など安全保障が大きな重要課題となる中、エネルギーや食料の供給地としての地方の役割の重要性はますます高まっております。言い換えれば、地方に新たな活力を生み出すチャンスであり、この好機を活かすためにも、我々自治体のリーダーが研鑽を積み、今までの延長線ではなく、時代に即した新しい行政運営を進めていくことが肝要です。

本日のサミットでは、三種町の田川町長による地域組織の運営、五城目町の荒川町長による二地域居住や関係人口をテーマに、素晴らしい取組の事例発表を

していただきます。明日視察いただく男鹿市を含め、これらの事例が皆様の地域課題解決の一助となれば幸いです。本日の議論が実りあるものとなり、それぞれの地域の発展に寄与することを祈念いたします。

結びに、ご参加の皆様のご健勝と各地域の発展、そして我が国の平和と繁栄をお祈り申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。